

ケニアにおける日本式の安全・安心なカテーテル治療の技術・医療機器及び教育手法の普及

① 現地の状況やニーズなどの背景情報

ケニアでは、近年非感染性疾患(NCDs)による死亡率(39%)は上昇傾向で、うち循環器疾患は死因1位だが、心臓カテーテル治療(PCI)専門医が少ない。

② 事業目的

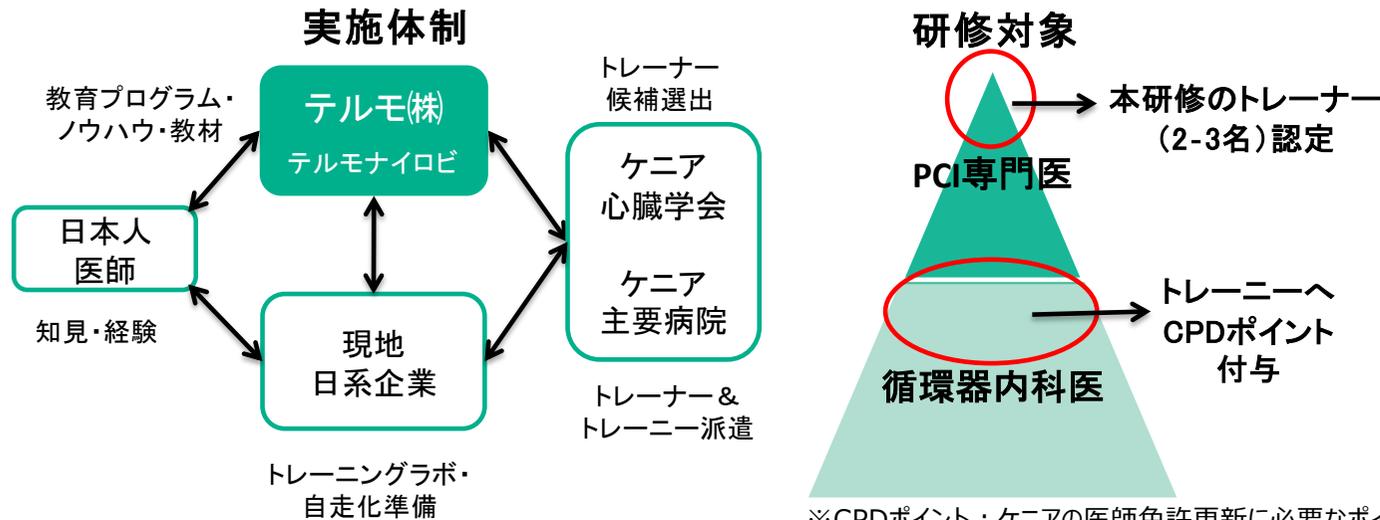
日本式のPCI技術及び教育手法を導入し、ケニアへの定着・普及を目指す。3年目では、PCI技術研修の現地自走化(現地トレーナー2-3名の認定、トレーニーへCPDポイント※を付与)を目指す。

③ 事業の概要

日本人医師の知見・経験と弊社のトレーニングノウハウを活かし、現地研修を通じて、ケニア人トレーナーがPCI技術の教育手法を習得、現地日系企業との連携の下、本研修の現地自走化を目指す。

④ 期待される成果とその後の波及効果

本事業終了後、ケニア人トレーナーが本研修の講師となり、トレーニーへ指導する本研修の自走化を成果とし、日本式の安全・安心な治療方針と教育手法が普及され、循環器疾患の死亡率低減を波及効果とする。



※CPDポイント：ケニアの医師免許更新に必要なポイント

